

人間の思考や判断、認識などのあいまいさを積極的に利用して情報システム、マン・マシン・システム、あるいは社会システムの複雑な問題を解決しようとするものである。この会議には全ヨーロッパ、北米、日本、中国などから300余編の論文発表があった、日本からの参加者が海外在留者をふくめて25名であったのに中国がそれを超す30名の学者を派遣したのが注目された。応用研究と理論研究はほぼ半々であったが、応用は人工知能、エキ

スパート・システム、ロボット、診断、OR、モデリング、制御など非常に多岐にわたっている。参加者の専門も数学から経済、心理などさまざまであるところに特色がある。

第2回の会議は1987年に日本で開催することになり各国から大きな期待が寄せられている。本学会にも協賛をお願いすることになると思うので、ぜひ強力なご支援を賜りたい。

会合記録

	()内は人数
モニター委員会	8月5日(月) (3)
FMES	8月6日(火) (7)
編集委員会 (OR誌)	8月7日(水) (8)
普及委員会	8月9日(金) (6)

入退会

(60. 7. 26)

●移動 (学生会員→正会員)

井田 八郎 東京工業大学→(社)海外コンサルティング企業協会
糸永 慎一 京都大学→新日本製鐵㈱

大橋 明德 青山学院大学→Oceanroutes Inc. (USA)

上垣 隆 防衛大学校→防衛庁海上自衛隊
佐藤 泰司 広島大学→広島大学
渋谷 真 神戸大学→㈱神戸製鋼所
千葉 靖紀 北海道工業大学→土別市役所
山田 俊哉 神戸商科大学→三菱油化㈱

(賛助会員)

住友金属鉱山㈱
センチュリリサーチセンタ㈱
日本ユニパック㈱ 北海道システム部
糧友グループ事業協同組合

編集後記▶前任の方々から引継いで半年、新編集委員たちもやっと編集の仕事に慣れてきて、どうにか仕事も軌道にのったところで、事務局の寺地さんが9月いっぱいでご結婚のため退職されました。前任者の平井さんから引継いで2年4カ月にわたりOR誌の編集実務を一手に引受けていただきました。原稿の依頼状発送や受領、問合せ、学会事務局関係の原稿作成、とりまとめ、編集委員や印刷所との連絡、校正手伝いなどの仕事だけ

でなく、編集委員会にも夜遅くまでお付き合いいただきました。OR誌が毎月とどこおりなく発刊できましたのも、こうした実務面をしっかりと実行してくださったお陰と感謝するとともに、今後のご多幸を心よりお祈り申し上げます。寺地さんに退職されて、いささか心もとない心境の編集委員一同ですが、なんとか読者・執筆者の皆様にご迷惑をお掛けしないようにガンバッテいきたいと思

オペレーションズ・リサーチ

昭和60年10月号 第30巻 (新シリーズ第10巻) 10号 通巻298号
代表者 近藤次郎
発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) 〒113
編集人 柳井浩
発売所 株式会社 日科技連出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548)、日経弘報社 (583-2241) へ